

私はパナソニック入社後、AVCネットワークス社へ配属され、現在まで放送用・業務用カメラの要素開発に携わっています。入社～3年目まではカメラの受光素子であるCMOSセンサの評価担当、4年目～現在はカメラ信号処理系のアルゴリズム考案から回路実装・検証を行うハードウェア担当としてカメラ要素技術の開発を行っています。

私がこの仕事のなかで最もやりがいとして感じていることは、全世界へ感動を届けられる仕事に就いているということです。特に弊社はオリンピックに対し、一業種一社のみに限られる「TOPスポンサー」という位置づけにあり、カメラを含む放送用機材など映像音響機器を数多く納入して

います。昨今開催されたりオオリンピック・パラリンピックでも弊社の放送機材が使用されておりましたが、中でも、私が入社2年目の時に評価したCMOSセンサを搭載したカメラがメイン機材として使用されたことに大きな喜びを感じました。来る2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいても弊社はTOPスポンサー契約を締結しているため、それをマイルストーンの一つとして、今後も業務の推進に努めていこうと考えております。

最後になりましたが、同窓会の皆様方の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

## 未来戦略懇談会

### “電気・情報未来戦略 –21世紀を拓く情報エレクトロニクス–”懇談会 (略称:未来戦略懇談会)の活動報告

未来戦略懇談会運営委員長 松浦 祐司

電気・情報系『未来戦略懇談会』では、同窓会の皆様をはじめとする会員企業の協力のもと、学生の人材育成に重きを置き、様々な取り組みを行っています。

2008年10月の発足から8年となり、順調に活動を続けております。会員企業も本年度新たにNHKやオークマなどにご加入いただき、昨年度よりさらに増えて合計67社となりました(2016年11月現在)。

未来戦略懇談会では、「研究開発実践論」と「企業フォーラム」を活動の2つの柱としています。「研究開発実践論」は企業における研究開発の実際や大学における研究との違い等について学生が理解を深めることを目的とした、電気・情報系の修士課程の学生を対象とした正規の授業科目で、10月から1月に開講しています。毎回会員企業から講師を招き、自社の研究開発の実際について講義頂いています。企業における研究開発活動の実務の中心となって活躍しておられる方に主として講師を依頼しており、本年度はセイコーエプソン、NHK、日本電信電話(NTT研究所)、三菱電機、東日本旅客鉄道、日立製作所、東芝、キヤノン、東北電力、ニデック、新日鐵住金、本田技術研究所といった幅広い業種やテーマで講義をお願いしております。



研究開発実践論の講義風景

電気エネルギーシステム専攻、通信工学専攻、電子工学専攻を中心に修士1年80名ほどが履修しており、履修登録していない学生についても関心のある企業については聴講を勧めています。

もう1つの活動の柱である「企業フォーラム」は、会員企業全社にお集まりいただき、企業における研究開発の状況や企業における研究者・技術者のありよう等について電気・情報系の学生に各社の研究者・技術者から直接情報提供していただき、キャリア教育の観点から企業と学生の交流を深めていただくイベントです。本年度は2017年1月14日(土)に東北大学片平さくらホールで開催の予定です。

さらに本年度は、2013・2014年度に実施した「女性フォーラム」も2016年12月10日(土)に開催する予定です。本学電気・情報系を卒業して企業等で現在活躍している女性卒業生11名にお集まりいただき、現役の女子学生に対して歩んできたキャリアや仕事内容、ライフイベント等についてのプレゼンテーションとグループディスカッションをしていただき、女子学生のキャリア形成の支援を行います。



企業フォーラムの様子(昨年度)